



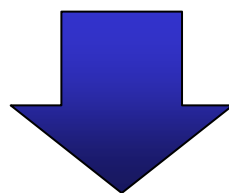
アセアン事業説明会

- アセアンチャレンジ12 -
12の施策でシェア12%を目指す

2011年 10月 11日

三菱自動車工業株式会社

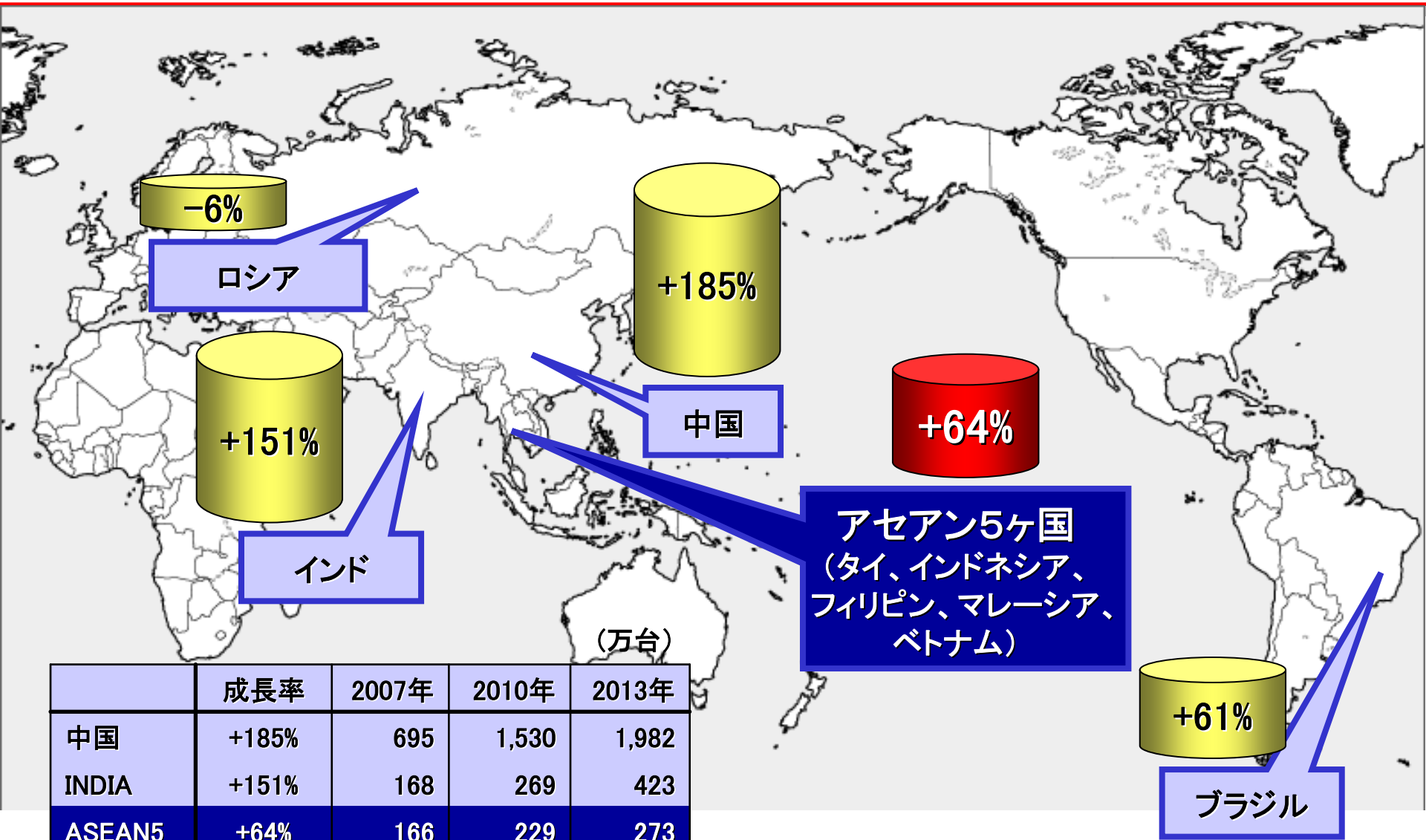
1. 新興国自動車市場
2. アセアン地域成長戦略
3. タイ生産事業強化
4. アセアン地域現地生産強化
5. プロトン社との協業強化



「アセアンチャレンジ12」
アセアン5カ国 販売シェア12%の達成

1. 新興国自動車市場

1. 新興国自動車市場: 成長を続ける新興国市場(07年⇒13年)



	成長率	2007年	2010年	2013年
中国	+185%	695	1,530	1,982
INDIA	+151%	168	269	423
ASEAN5	+64%	166	229	273
BRAZIL	+61%	238	333	384
RUSSIA	-6%	259	191	244

注記: ①総需要データはGlobal Insight 2011年6月版
 ②対象車種は乗用車+LCV(除くトラック・バス)

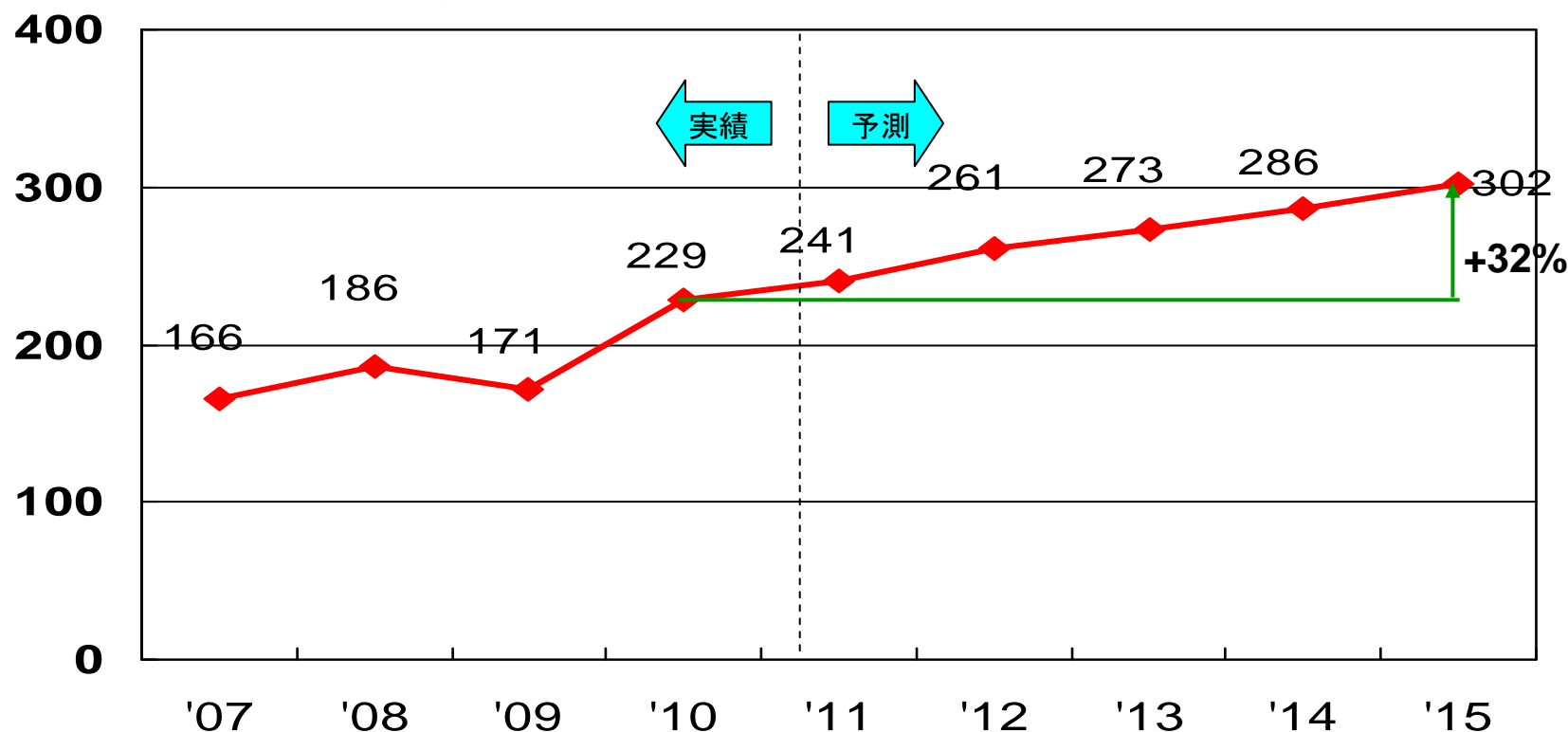
1. 新興国自動車市場: アセアン地域に於ける三菱自動車

1. 成長著しい新興国の中でも、アセアン地域は、安定した成長に加え現地生産推進を掲げる自動車政策を受け、古くから日本メーカーが現地生産事業に進出しており、安定的な日本車市場である。
2. 三菱自動車は、アセアン主要五カ国(タイ・インドネシア・マレーシア・フィリピン・ベトナム)において4カ国(タイ・インドネシア・フィリピン・ベトナム)に生産拠点を有し、マレーシアには提携先企業であるプロトン社にて、三菱ランサーベースのINSPIRAをライセンス供与にて生産。
3. タイは、全世界に向けての生産拠点。その他の国は、自国での販売の為の生産。
4. アセアン地域では、過去からの生産・販売の歴史にも支えられ、2010年度主要5カ国での販売シェアは、6.5%(除くプロトン社向けKD)、2011年度は8月までの実績＝販売シェア 8.8%
5. 三菱自動車では最重要市場であるアセアン地域を、今後の成長のエンジンと位置づけ戦略・施策を進めていく。

アセアン市場の魅力は規模と将来性

- ・09年リーマンショックの影響は軽微。
- ・07年⇒15年の伸張は+82%、市場も300万台を突破する見込みであり、魅力的な市場。

(万台)

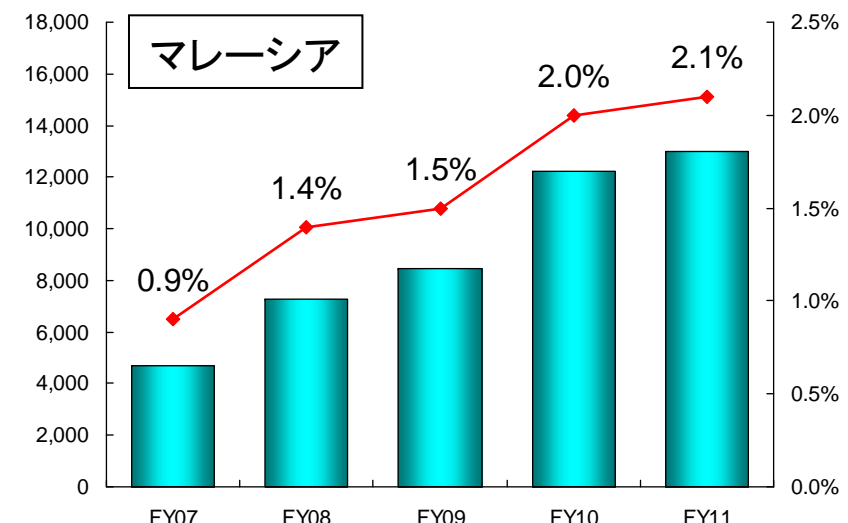
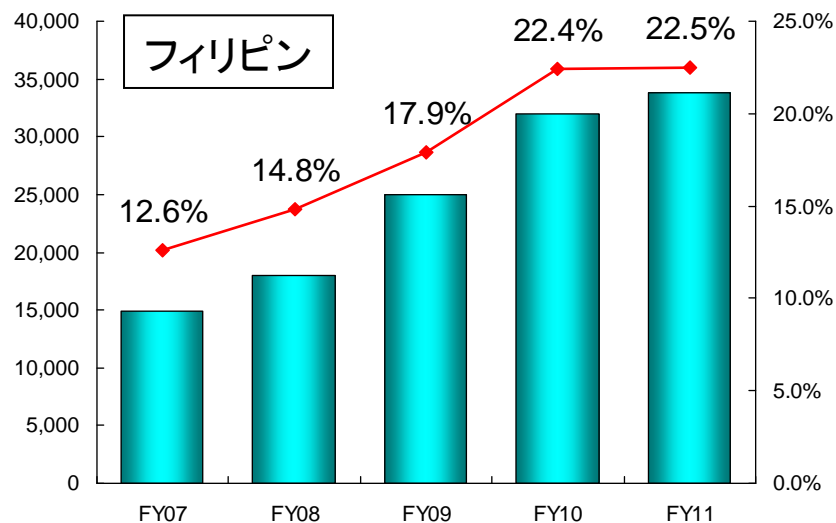
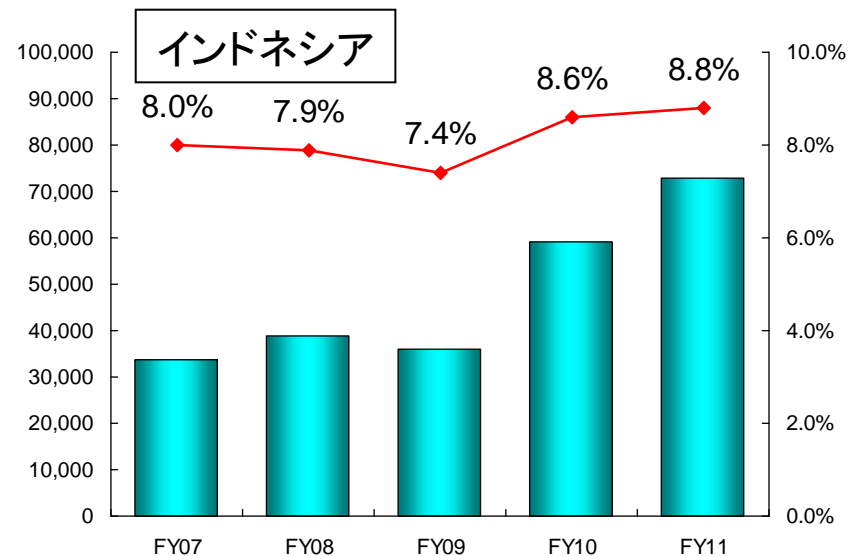
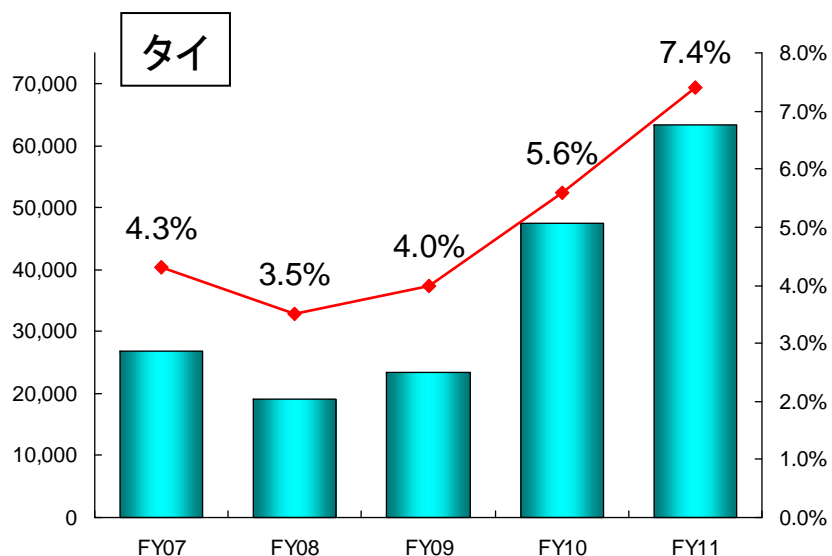


注記: ①総需要データはGlobal Insight 2011年6月版

②対象国はタイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムの5カ国

③対象車種は乗用車+LCV(除くトラック・バス)

1. 新興国自動車市場:主要国での三菱自動車販売状況



■ 販売台数(左軸) ■ 販売シェア(右軸) ※FY11は計画

ベトナムを加えたアセアン5カ国で、10年度シェア=6.5%、11年度は8月実績までで8.8%

1. 新興国自動車市場: アセアンの生産拠点(2011年9月)



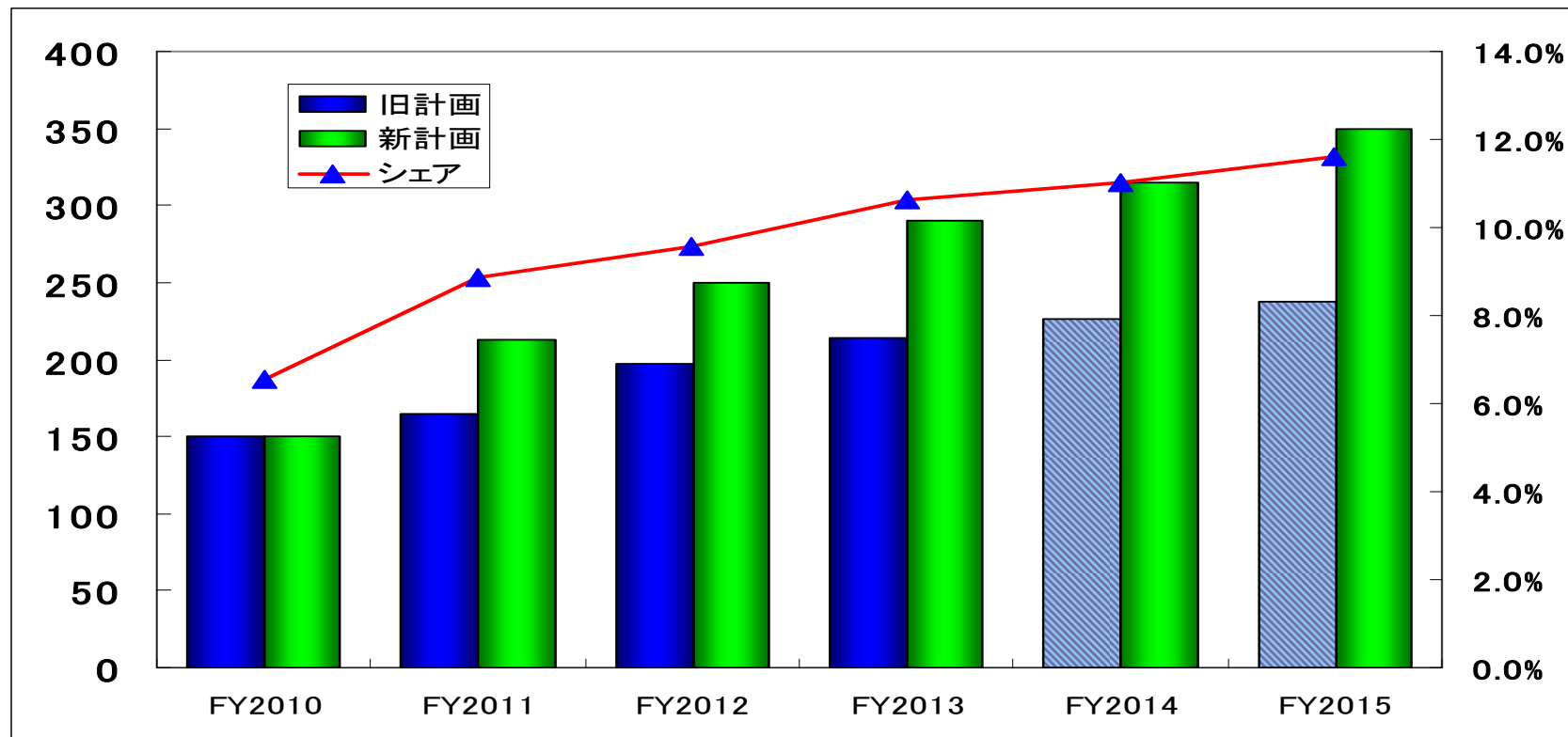
- ・ アセアン5カ国に生産拠点及び提携先あり
- ・ タイは輸出拠点
- ・ 他の国は、自国販売の為の現地生産



2. アセアン地域の成長戦略

2. アセアン地域に於ける成長戦略:新たな目標値=シェア12%

新たな目標値: 2015年度、アセアン5カ国 36万台、シェア12%

(千台)



- 1) アセアン5カ国(タイ・インドネシア・フィリピン・マレーシア・ベトナム)販売計画合計
- 2)  中期経営計画作成時の計画(2014年以降は仮計画値)
- 3)  2011年9月 新目標(新しいチャレンジ)
- 4) 折れ線グラフは、アセアン5カ国での販売シェア新目標(新しいチャレンジ)

1. タイ生産事業強化

- | | |
|--------------------|----------|
| ① グローバルスモール生産: | 2012年3月～ |
| ② 受託生産車生産: | 2012年度上期 |
| ③ 第一工場・第二工場生産能力増強: | 2012年度上期 |

2. アセアン事業強化として現地生産車拡大

- | | |
|------------------------------|----------|
| ④ インドネシア/マレーシア: 小型SUV現地生産: | 2012年度上期 |
| ⑤ ベトナム: パジェロスポーツ現地生産開始: | 2011年8月 |
| ⑥ ベトナム: グローバルスモール現地生産検討: | 2013年度下期 |
| ⑦ フィリピン: ATC社(T/M等を生産)活用を強化: | 2013年度上期 |
| ⑧ バングラデシュ: パジェロスポーツ現地生産開始: | 2011年8月 |
| ⑨ バングラデシュ: 小型セダン現地生産検討: | 2013年度下期 |
| ⑩ インド: パジェロスポーツ現地生産準備中: | 2012年度上期 |

3. プロトン社との協業推進

タイに続くアセアン域内生産拠点として、マレーシアプロトン社との協業強化

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| ⑪ 三菱車のプロトン社での生産 | 2013年度上期 |
| ⑫ マレーシア製エンジン等のコンポーネントをアセアン域内外に供給: | 2013年度上期 |



MITSUBISHI Concept Global Small

3. タイ生産事業強化

3. タイ生産事業強化: グローバルスマール追加



現状現地生産モデル



新規投入現地生産モデル



3. タイ生産事業強化：生産能力増強

MMTh生産能力増強計画

(千台)

	2010年度			2013年度		増加能力
	車種	台数	生産能力	車種	生産能力	
第一工場	パジェロスポーツ	64	64	三菱車	20	+16
	ランサー他			受託生産車	60	
第二工場	トライトン	134	150	トライトン	230	+80
第三工場				パジェロスポーツ		
				グローバルスモール	150	+150
完成車合計	三菱車	198	214	三菱車	400	+246
				受託生産車	60	
				合計	460	
KD		28	30		63	+33
合計		226	244		523	+279

【各工場 完成車生産能力増強】

第一工場：64千台 ⇒ 80千台

+ 16千台/年

第二工場：150千台 ⇒ 230千台

+ 80千台/年

第三工場：

+ 150千台/年

合計：完成車 214千台 ⇒ 460千台 (+246千台)

3. タイ生産事業強化：第三工場建設

新工場建設状況(2011年9月)



- ・準備は順調に進行
- ・2012年3月より
グローバルスマール
生産開始

溶接ライン



組み立てライン



4. アセアン地域現地生産強化

4. アセアン地域現地生産強化:インドネシア 小型SUV現地生産追加

三菱車現地生産工場:
MKM社(板金・エンジン・TM)



三菱車現地生産工場:
KRM社(車両組み立て)



※MKM社:P.T.Mitsubishi Krama Yudha Motors and Manufacturing

※KRM社:P.T.Krama Yudha Ratu Motor

現行現地生産車種



L300



T-120

+



小型SUV

増加する乗用車需要対応の為
小型SUVの現地生産を検討
2012年度上期に生産開始予定

4. アセアン地域現地生産強化:マレーシア 小型SUV現地生産

マレーシアに於ける提携先 プロトン社での小型SUVの生産検討: 2012年度上期



プロトン社 シャーラム工場

現在、プロトン社にてライセンス生産中のINSPIRAは、小型SUVと共通プラットフォームを有する。INSPIRAと同一ラインで効率的な生産を追求。



プロトン社 INSPIRA

+



小型SUV

4. アセアン地域現地生産強化:ベトナム 生産車種追加

ベトナムに於ける現地生産車種の追加による事業拡大



VSM社(Vina Star Motors Corporation)

現行生産車



ジンガー

+

追加現地生産車
(2011年8月)



パジェロスポーツ

+

追加検討中
(2013年度下期)



MITSUBISHI Concept Global Small

4. アセアン地域現地生産強化:フィリピン 現地生産車種別追加

フィリピンに於ける現地生産車種別追加による販売競争力向上



MMPC社(Mitsubishi Motors Philippines Corp.)/ATC社(Asian Transmission Corporation)

ランサー EXに、1.6L車を追加生産
2011年12月～



1.6Lモデル追加生産



L300



アドベンチャー



ランサーEX

4. アセアン地域現地生産強化:フィリピン コンポ供給基地機能強化

フィリピンのTM生産・エンジン組立工場であるATC社を、アセアン地域でのTMを中心とするコンポ供給基地として機能強化



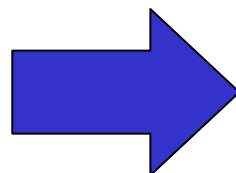
MMPC社(Mitsubishi Motors Philippines Corp.)

ATC社(Asian Transmission Corporation)

現状:ギア他TM用部品生産・TM組み立て・
エンジン組み立て、部品を日本・アセアン各国に
輸出。

次世代用TMの生産・組み立てを検討
日本・アセアン各国に、部品及びTMを輸出。

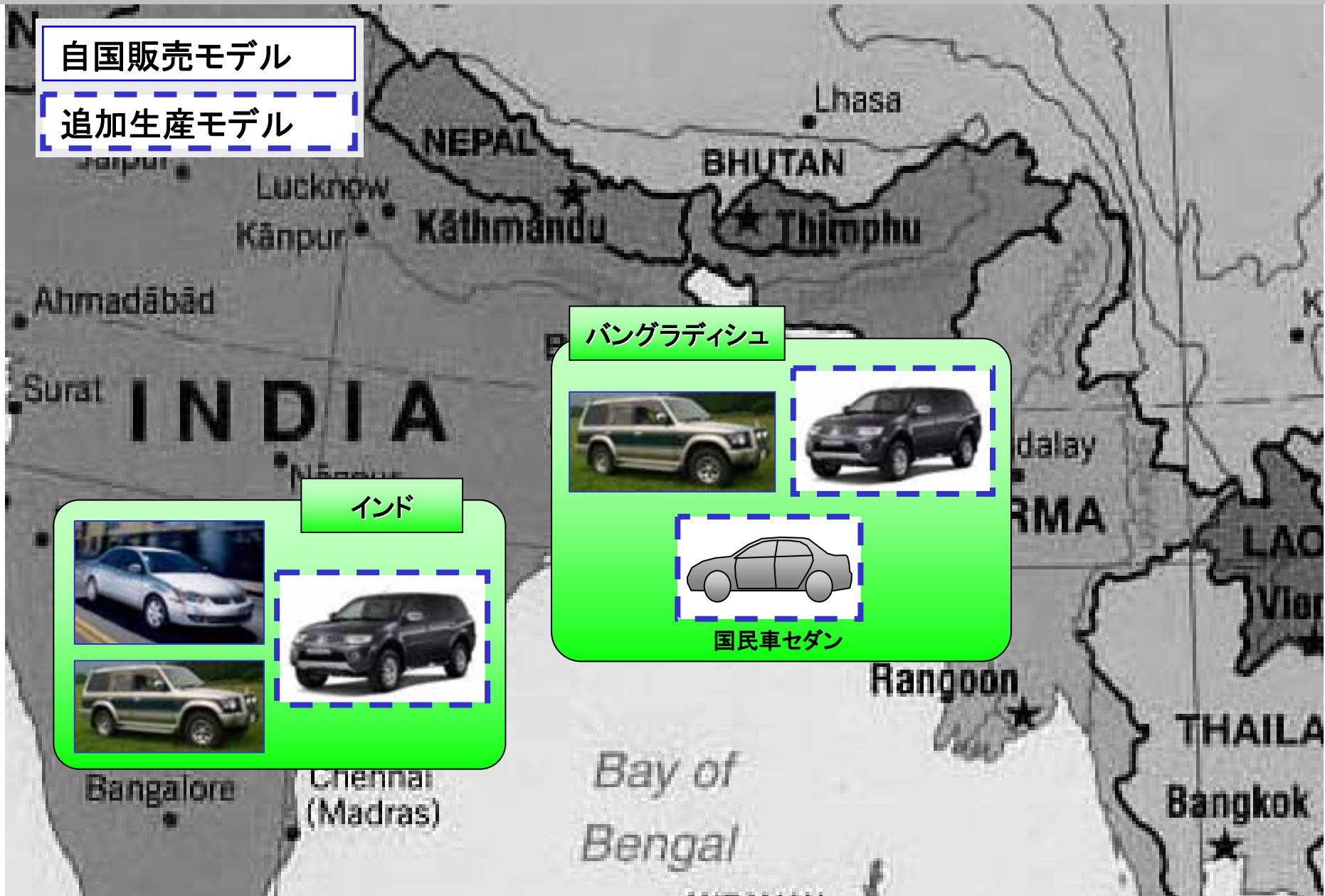
2013年度上期



4. アセアン地域現地生産強化：現地生産モデル・コンポ・類別追加



4. アセアン地域現地生産強化:その他地域 インド・バングラデシュ



5. プロトン社との協業強化

新たな協業関係の構築

両社が新たに検討を合意した協業案件は以下の通り。
これらの検討を通して、当社はアセアン市場における事業展開の更なる拡大、プロトン社は商品ラインナップの拡充と生産設備の有効活用を実現。

【協業プロジェクト】

- ・マレーシアでのエンジン共同生産
- ・三菱自動車向け車両のプロトン社での生産
- ・三菱自動車が来年3月にタイを皮切りに世界展開を図る「グローバルスマール」と、プロトン社新型小型車の主要コンポーネントの共用化
- ・EV/PHEVなどの将来技術の供与

5. プロトン社との協業：小型車の主要コンポーネントを共有化

新型小型乗用車の主要コンポーネント共用化

当社グローバルスマールのエンジン、トランスミッション、その他主要コンポーネントをプロトン社の新型小型車と共有し、コストメリットを追求。



MITSUBISHI Concept Global Small



PROTON EMAS (2010 ジュネーブショー) 27

5. プロトン社との協業：マレーシア国内での共同生産（エンジン・車体）

マレーシア国内での共同生産

新合弁会社設立による当社エンジンの国産化、及び、プロトン社の現有生産能力を当社製品組立に活用することを推進。

- エンジン国産化によるコストメリット、並びに国産化に伴う税制メリット享受により当社乗用車モデルの競争力向上、販売台数増を図る。
- タイに続く当社アセアン生産拠点として、プロトン社の余剰生産能力を活用する事により新たな資本的支出を抑制。
- プロトン社との協業強化により為替リスクを軽減



エンジン共同生産

- ・タイ他へのエンジン供給検討



三菱車のプロトン社工場での生産

- ・マレーシアでの拡販
- ・マレーシア国外への輸出

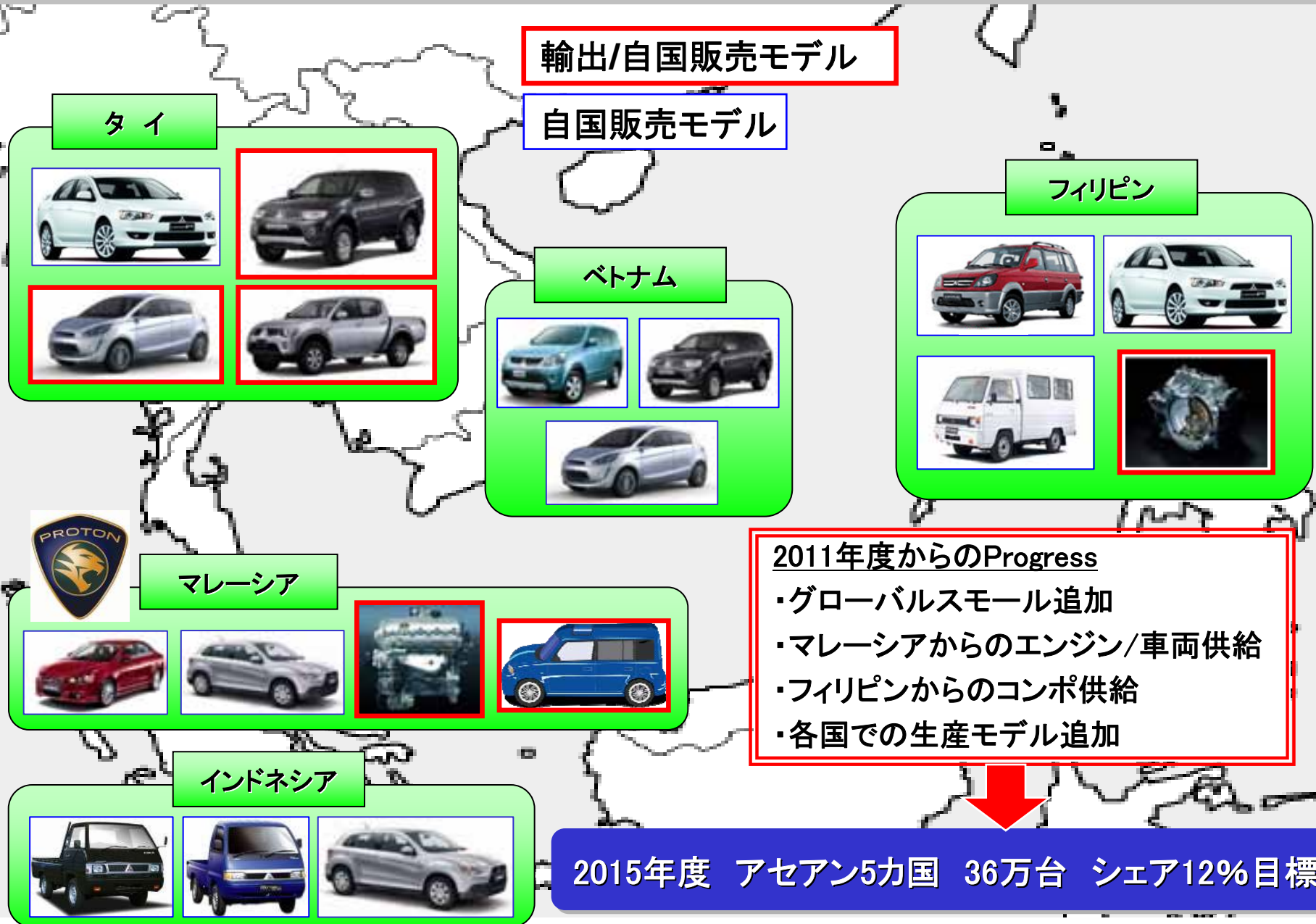


プロトン社 タンジュンマリム工場

6. アセアン5カ国、現地生産強化による シェア12%の達成

「アセアンチャレンジ12」

6. アセアン5カ国 シェア12%の達成 「アセアンチャレンジ12」



本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS